平成26年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年２月６日

上 場 会 社 名　　鬼怒川ゴム工業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　５１９６　　URL　http://www.kinugawa-rubber.co.jp/
代　表　者　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 関 山 定 男
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員　　(氏名) 嶋 津 智 昭　　(TEL)043(259)3114
四半期報告書提出予定日　　平成26年２月６日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	55,160	9.5	5,474	4.2	6,108	10.3	3,717	14.1
25年３月期第３四半期	50,359	△4.3	5,253	△16.7	5,536	△13.7	3,259	△24.6

(注)　包括利益　26年３月期第３四半期　5,479百万円(77.5%)　25年３月期第３四半期3,086百万円(△27.0%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年３月期第３四半期	55　30	55　23
25年３月期第３四半期	48　47	48　46

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	56,968	31,202	53.1
25年３月期	49,073	26,332	52.0

(参考)　自己資本　26年３月期第３四半期 30,261百万円　　25年３月期 25,520百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年３月期	―	4　00	―	4　00	8　00
26年３月期	―	4　00	―		
26年３月期(予想)				4　00	8　00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	72,500	9.5	7,700	20.6	8,100	15.0	4,500	13.2	66　94

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期３Ｑ	67,299,522株	25年３月期	67,299,522株
②　期末自己株式数	26年３月期３Ｑ	76,408株	25年３月期	66,252株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期３Ｑ	67,229,074株	25年３月期３Ｑ	67,234,753株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（セグメント情報等） ……10
※ 平成26年３月期第３四半期決算概要（参考資料）

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果により、円安や株高などを背景に景気は緩やかな回復を続けました。

当社グループの主要得意先の自動車生産は、前年同期比で国内は約１割弱減少、海外は中国が約４割増加、米州が約１割弱増加となり、グローバルでは約１割増加となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、５５１億６千万円（前年同期比9.5%増）となりました。部門別の売上高は、車体シール部品はアジア及び米州での生産量の増加により２９９億２千万円（前年同期比22.8%増）、防振部品は国内での生産量の減少により９５億５千１百万円（前年同期比6.4%減）、ホース部品は前年同期並みの６６億６千１百万円（前年同期比△0.0%減）、ブレーキ・型物部品は国内での生産量の増加により３６億３千万円（前年同期比1.6%増）、その他製品は受注の増加により４６億９千５百万円（前年同期比0.4%増）、その他事業は受注の減少により７億１百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

損益につきましては、国内の操業度低下影響、新車立上げに伴う費用などを調達資材の現地化・汎用化、モノ造り改善活動及び徹底した経費削減で補い、営業利益は５４億７千４百万円（前年同期比4.2%増）、経常利益は為替差益などにより６１億８百万円（前年同期比10.3%増）、四半期純利益は３７億１千７百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

なお、セグメント別の状況は、次のとおりであります。

[日本]

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の減少により、３３８億８千万円（前年同期比5.9%減）となりました。営業利益は、操業度の低下による影響を合理化で補えず、３３億３千４百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

[米州]

売上高は、メキシコ拠点の本格操業及び主要得意先の自動車生産台数の増加により、７０億１千２百万円（前年同期比72.2%増）となりました。営業利益は、拠点の自主自立による改善活動の推進により、前期から改善効果が出ているものの、新車立上げに伴う一時的費用により、４億８百万円の損失（前年同期は４億７千５百万円の損失）となりました。

[アジア]

売上高は、中国での主要得意先の自動車生産台数の増加により、１４２億６千７百万円（前年同期比39.0%増）となりました。営業利益は、タイ拠点での新車立上げに伴う一時的費用及びインドネシア・中国（蕪湖）の新拠点立上げ費用等を中国既存拠点でのモノ造り改善活動等による合理化活動で補い、２４億６千８百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて現金及び預金が８億６千９百万円、受取手形及び売掛金が２０億２千６百万円増加したことなどにより、４９億６千万円増加の２９２億１千８百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて有形固定資産が１９億１千万円、投資有価証券が１４億６千３百万円増加したことなどにより、２９億３千４百万円増加の２７７億４千９百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて７８億９千５百万円増加の５６９億６千８百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて支払手形及び買掛金が１９億７千４百万円増加、短期借入金及び１年内返済予定の長期借入金が１１億８千１百万円減少したことなどにより、１１億２百万円増加の１７６億５千５百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて長期借入金が１８億１千１百万円増加したことなどにより、１９億２千３百万円増加の８１億１千万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて３０億２千５百万円増加の２５７億６千５百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が３１億７千９百万円、為替換算調整勘定が１５億２千７百万円増加したことなどにより、４８億７千万円増加の３１２億２百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は３８億２千９百万円と、期首に比べて８億６千９百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が５９億７千３百万円、減価償却費１５億４百万円、売上債権の増加１１億７百万円、法人税等の支払額２１億２百万円などにより、４２億９千７百万円の増加（前年同期は２３億９千４百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得２４億６千５百万円、投資有価証券の取得１０億８千３百万円などにより、３３億７千万円の減少（前年同期は１６億３千５百万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の増加３億３千５百万円、配当金の支払額６億２千７百万円などにより、３億１千７百万円の減少（前年同期は２億１千８百万円の減少）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期通期連結業績予想につきましては、平成25年11月７日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,959,755	3,829,026
受取手形及び売掛金	14,045,997	16,072,578
商品及び製品	1,308,891	1,403,032
仕掛品	1,283,647	1,336,639
原材料及び貯蔵品	2,217,299	2,628,157
その他	2,490,380	3,990,885
貸倒引当金	△47,743	△41,811
流動資産合計	24,258,229	29,218,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,641,261	5,148,450
機械装置及び運搬具（純額）	4,485,524	5,379,348
工具、器具及び備品（純額）	527,647	649,722
土地	10,425,928	10,493,254
建設仮勘定	1,080,505	1,400,801
有形固定資産合計	21,160,868	23,071,576
無形固定資産		
のれん	218,542	177,315
その他	265,412	286,149
無形固定資産合計	483,954	463,465
投資その他の資産		
投資有価証券	2,021,878	3,484,891
その他	1,179,025	761,468
貸倒引当金	△30,822	△31,507
投資その他の資産合計	3,170,082	4,214,852
固定資産合計	24,814,905	27,749,894
資産合計	49,073,134	56,968,403

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,321,444	8,296,300
短期借入金	4,801,668	3,979,195
1年内返済予定の長期借入金	1,287,764	928,920
未払費用	943,924	1,022,530
未払法人税等	1,012,099	1,109,438
賞与引当金	828,261	485,002
その他	1,357,873	1,833,723
流動負債合計	16,553,035	17,655,110
固定負債		
長期借入金	822,350	2,633,996
退職給付引当金	2,668,399	2,773,735
役員退職慰労引当金	35,056	53,311
その他	2,661,528	2,649,470
固定負債合計	6,187,334	8,110,513
負債合計	22,740,369	25,765,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,654,585	5,654,585
資本剰余金	849,597	849,597
利益剰余金	17,112,984	20,292,632
自己株式	△27,703	△33,178
株主資本合計	23,589,463	26,763,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,342	85,923
土地再評価差額金	2,471,580	2,471,580
為替換算調整勘定	△587,900	939,951
その他の包括利益累計額合計	1,931,021	3,497,455
新株予約権	27,120	50,341
少数株主持分	785,159	891,345
純資産合計	26,332,764	31,202,779
負債純資産合計	49,073,134	56,968,403

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日)
売上高	50,359,823	55,160,800
売上原価	40,057,819	44,503,588
売上総利益	10,302,004	10,657,212
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	1,258,790	1,258,756
従業員給料及び賞与	1,378,455	1,347,069
法定福利及び厚生費	287,158	302,459
退職給付費用	91,164	88,407
賞与引当金繰入額	77,101	72,001
役員退職慰労引当金繰入額	9,479	7,213
減価償却費	112,846	113,228
賃借料	129,288	120,643
消耗品費	156,769	92,497
のれん償却額	56,794	41,226
その他	1,490,845	1,739,430
販売費及び一般管理費合計	5,048,694	5,182,933
営業利益	5,253,309	5,474,278
営業外収益		
受取利息	32,796	35,602
受取配当金	6,205	7,183
持分法による投資利益	73,799	135,323
固定資産賃貸料	25,969	50,287
為替差益	115,095	398,125
その他	180,665	133,010
営業外収益合計	434,532	759,532
営業外費用		
支払利息	71,791	85,522
その他	79,968	40,081
営業外費用合計	151,759	125,604
経常利益	5,536,082	6,108,206
特別利益		
固定資産売却益	22,648	825
特別利益合計	22,648	825
特別損失		
固定資産売却損	60	－
固定資産除却損	1,032	10,110
割増退職金	56,791	6,881
事業構造改善費用	－	118,131
その他	24,217	－
特別損失合計	82,103	135,123
税金等調整前四半期純利益	5,476,628	5,973,908
法人税等	2,178,122	2,173,051
少数株主損益調整前四半期純利益	3,298,506	3,800,856
少数株主利益	39,332	83,363
四半期純利益	3,259,174	3,717,493

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,298,506	3,800,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,574	38,581
為替換算調整勘定	△206,779	1,454,388
持分法適用会社に対する持分相当額	△11,321	186,030
その他の包括利益合計	△211,526	1,679,000
四半期包括利益	3,086,980	5,479,857
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,024,281	5,283,927
少数株主に係る四半期包括利益	62,699	195,930

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,476,628	5,973,908
減価償却費	1,226,987	1,504,711
のれん償却額	56,794	41,226
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,926	△7,178
退職給付引当金の増減額（△は減少）	64,501	91,665
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△139,860	18,255
受取利息及び受取配当金	△39,002	△42,786
支払利息	71,791	85,522
有形固定資産売却損益（△は益）	△22,587	△825
有形固定資産除却損	1,032	10,110
持分法による投資損益（△は益）	△73,799	△135,323
売上債権の増減額（△は増加）	972,057	△1,107,401
たな卸資産の増減額（△は増加）	△290,013	△262,295
仕入債務の増減額（△は減少）	△261,257	1,338,781
未払消費税等の増減額（△は減少）	△78,877	81,376
その他	△1,287,026	△1,148,030
小計	5,680,295	6,441,717
利息及び配当金の受取額	158,610	42,786
利息の支払額	△70,179	△84,962
法人税等の支払額	△3,374,581	△2,102,349
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,394,144	4,297,191
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,585,793	△2,465,024
有形固定資産の売却による収入	95,218	2,504
投資有価証券の取得による支出	△3,980	△1,083,964
その他	△140,560	176,333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,635,116	△3,370,150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,934,903	△1,112,638
長期借入れによる収入	－	2,662,204
長期借入金の返済による支出	△1,433,320	△1,214,314
自己株式の取得による支出	△1,327	△5,475
配当金の支払額	△672,354	△537,845
少数株主への配当金の支払額	△26,007	△89,273
その他	△20,603	△19,971
財務活動によるキャッシュ・フロー	△218,710	△317,314
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,115	243,747
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	570,433	853,473
現金及び現金同等物の期首残高	2,821,659	2,959,755
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	475,809	－
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	15,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,867,903	3,829,026

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)１	四半期連結損益計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,020,630	4,073,457	10,265,735	50,359,823	―	50,359,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,959,392	―	433,526	2,392,919	△2,392,919	―
計	37,980,023	4,073,457	10,699,262	52,752,742	△2,392,919	50,359,823
セグメント利益又は損失(△)	3,540,984	△475,376	2,132,249	5,197,856	55,452	5,253,309

(注)１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。
２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)１	四半期連結損益計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,880,776	7,012,727	14,267,296	55,160,800	―	55,160,800
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,104,865	―	342,171	2,447,036	△2,447,036	―
計	35,985,641	7,012,727	14,609,467	57,607,837	△2,447,036	55,160,800
セグメント利益又は損失(△)	3,334,761	△408,016	2,468,951	5,395,697	78,581	5,474,278

(注)１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。
２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成２６年２月６日
鬼怒川ゴム工業株式会社
コード番号　５１９６

参 考 資 料

平成２６年３月期 第３四半期 決算概要

【連結決算】

１．業績

（単位：百万円）

	当第３四半期累計期間実績 (H25/4～H25/12)		前第３四半期累計期間実績 (H24/4～H24/12)		増減	
売 上 高	55,160	100%	50,359	100%	4,801	9.5%
営業利益	5,474	9.9%	5,253	10.4%	221	4.2%
経常利益	6,108	11.1%	5,536	11.0%	572	10.3%
四半期純利益	3,717	6.7%	3,259	6.5%	458	14.1%
１株当たり四半期純利益	55.30 円		48.47 円		6.83円	

２．貸借対照表

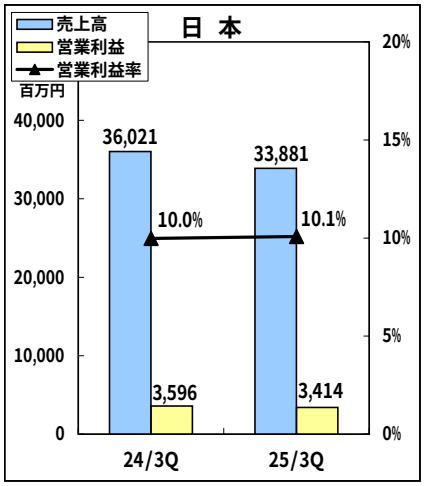
（単位：百万円）

資 産 の 部				負債・純資産の部			
科目	第３四半期	前期	増減	科目	第３四半期	前期	増減
流動資産	29,218	24,258	4,960	流動負債	17,655	16,553	1,102
現・預金	3,829	2,959	870	買入債務	8,296	6,321	1,975
売掛債権	16,072	14,046	2,026	借入金	4,908	6,089	△1,181
棚卸資産	5,368	4,810	558	その他	4,451	4,143	308
その他	3,949	2,443	1,506	固定負債	8,111	6,187	1,924
				借入金	2,634	822	1,812
				退職給付引当金	2,774	2,668	106
				その他	2,703	2,697	6
				（負債計）	25,766	22,740	3,026
固定資産	27,750	24,815	2,935	株主資本	26,764	23,589	3,175
有形固定資産	23,072	21,161	1,911	資本金	5,654	5,654	-
無形固定資産	463	484	△21	資本剰余金	850	850	-
投資その他	4,215	3,170	1,045	利益剰余金	20,293	17,113	3,180
				自己株式	△33	△28	△5
				評価・換算差額等	3,497	1,931	1,566
				新株予約権	50	28	22
				少数株主持分	891	785	106
				（純資産計）	31,202	26,333	4,869
合計	56,968	49,073	7,895	合計	56,968	49,073	7,895

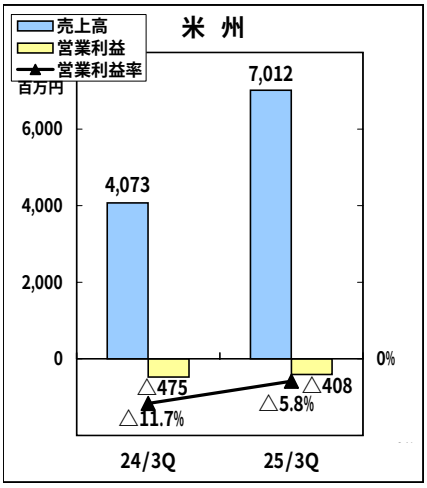
注）主なＢ／Ｓ指標

自己資本比率	53.1%	52.0%	1.1%
総資本回転率	1.3回	1.3回	△0.0回
総資本経常利益率	15.4%	14.7%	—
ＤＥＲ	0.3倍	0.3倍	0.0倍

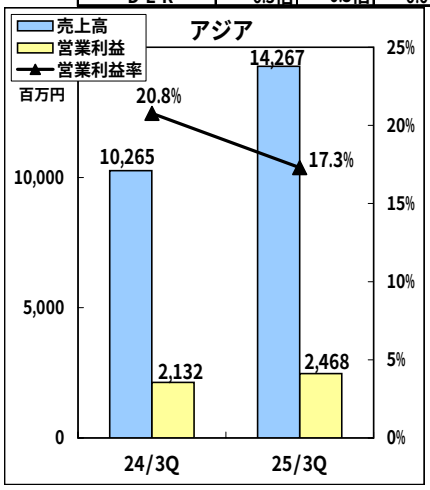
３．地域別セグメント情報



操業度の低下による影響を合理化で補えず、減収減益となった。

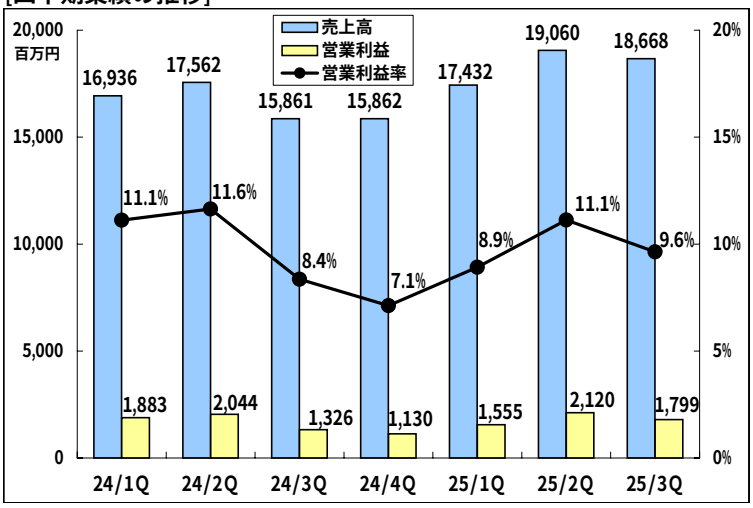


拠点の自主自立による改善活動の推進により、前期から改善効果が出ているものの、新車立上げに伴う一時的費用により損失となった。



タイにおける新車立上げに伴う一時的費用及びインドネシア・中国（蕪湖）の新拠点立上げ費用等を中国既存拠点でのモノ造り改善活動等による合理化活動で補い増収増益となった。

[四半期業績の推移]



[当第３四半期の主な活動内容]

１．短期収益の確保
・モノ造りの継続した改革
　生産リードタイム短縮、ローコストオートメーション、省スペース化、材料歩留向上等の実現のため、グループ各社から経験豊富な人材を選抜し、クロスファンクショナルチームを結成、日本ベンチマークの生産方式を海外拠点に展開
・原材料調達の現地化等、グローバルでの最適調達の推進

２．売上の更なる拡大
・主要カーメーカーに対するグローバル拡販活動の実施
　メキシコ、中国、タイで車体シール部品に加えて防振部品、ホース部品の生産準備を行い、日産を始めとするグローバルカーメーカーの売上拡大を目指す

３．仕事の質の改善
・鬼怒川グループのモノ造りレベルアップの3つの重点活動を推進
　①拠点・設備の立上げ
　②新車の立上げ
　③拠点運営
・標準マニュアルによる継続反復した教育を実施